



佐久市立望月小学校
学校だより



令和5年(2023年)

9月1日(金)

(担当：教頭)

2学期のスタート

2学期がスタートして2週間が過ぎました。まだまだ暑い日が続きます。子どもたちは元気に毎日を過ごしていますが、快適な教室と体育館や校庭との温度差は大きいです。休み時間汗びしょりになって外で遊んだり体育で思い切り体を動かしたりした後は熱中症が心配されます。子ども達の体調は注意深く見ていきたいと思えます。引き続き水筒の用意をお願いします。

2学期の始業式では、1, 3, 5年生の代表が2学期の意気込みを発表してくれました。紹介したいと思います。

「2がっきがんばりたいこと」 1年2組 わたなべ れおん さん

まちにまった2がっきがはじまります。そこで、ぼくは、もくひょうをきめました。

1つめは、こくごのテストで100てんをとることです。1がっきに100てんがとれたので、2がっきもがんばりたいです。

2つめは、マラソンをがんばりたいです。うんどうが、たくさんできるようになりたいです。だいすきながっこうなので、けがをしないように、たのしくすごしたいです。

「2学期がんばりたいこと」 3年1組 渡辺 くおん さん

ぼくが、2学期にがんばりたい事は、学校とならい事の、りょうりつです。

ぼくは、小学生になってから休まず学校に通っています。

けがや病気をしないように、毎日の体ちょうかんりを、しっかりしたいです。

ならい事では、週に3回けん道のけいこに通っています。ぼくは、「けん道で強くなって、級をとる。」という目標があります。

やりたい事をやるために、学校に休まず通い、苦手な勉強もがんばります。

わからない所は、先生や友だちに教えてもらい、わからないままにしないで、苦手がなくなるようにしたいです。

「2学期のめあて」 5年1組 佐藤 実紅 さん

私は、2学期にがんばりたいことが2つあります。

1つ目は、はじめてのことなどにおそれず、何事にも前向きに進んで、チャレンジすることです。

1学期は、組体操や集団行動、キャンプなど、はじめてのことがたくさんありました。チャレンジするとき、「大丈夫かな？」と、少し勇気が必要でした。でも、「ペアも友だちや、5・6年生みんな協力したら、ぜったいに成功する。まわりには、応援してくれる人がいる。」と心の中で何度も思い、最後までがんばることができました。

2学期も、やったことがない事に出会っても、おそれずに参加し、やったことがある事にも自信

をもってチャレンジしていきたいです。

2つ目は、3つの木をもっと大きく育てることです。2学期には、音楽会やマラソン大会があります。私は、音楽会で合唱と合奏だけでなく、金管バンドにもちょうせんします。音楽会では、学び合いの木が育つとうれしいです。何回失敗しても、くり返し毎日練習をがんばっていきたいです。金管バンドで同じ楽器の6年生や、ちがう楽器のみんなとも息を合わせて練習し、わからない所があれば、学年関係なく教え合って、音楽会を通して学び合いの木が育つよう、努力していきたいです。

マラソン大会では、汗をかく木と思いやりの木を育てたいです。走って汗をかくのではなく、がんばって校庭を走って練習したり、あきらめそうになっても必死に走ったり、友達を応援したりする、汗をかく木と思いやりの木を育てていきたいです。

また、思いやりの木は、人に対してやさしくせったり、やさしい言葉をかけたりしても育つと思うので、自分から積極的に友達と関わっていきたいです。

私には、2学期の目標がまだたくさんあります。ひとつひとつ目標を達成して、成長できるようにがんばります。

夏休みの職員研修から

子どもたちが夏休みの間、職員は様々な研修を受けています。望月小学校では毎年、望月中学校職員と合同で非違行為防止の研修を行ってきました。本年度も7月27日に中学校で交通安全に関する研修を受けました。もちっ子応援団推進委員の皆様にも参加していただき、事故や飲酒運転の撲滅をあらためて誓い合う機会となりました。

講師として、佐久警察署交通課課長様、元川西交通安全協会の石合様をお招きしました。飲酒運転と酒気帯び運転の違いや処罰、かつて佐久管内で教職員の酒気帯び運転の検挙に立ち会った経験などの話をうかがい、一瞬の気の緩みが人生を大きく狂わせることを改めて感じました。コロナが5類になったことで飲食の機会も増え、飲酒運転も増えているそうです。飲食の前に帰宅方法を確認しあい、共有する同僚性が非違行為の防止につながることを学びました。また、分かっていることでもくり返し研修を重ねて緊張感を持続させていきたいと思えます。

RainboW Walking

8月31日には、望月地区に本社のある吉田工業様の支援を受けて一般社団法人 RainboW Walking 様により、全校児童の歩行計測をしていただきました。体にセンサーをつけて歩くことでその子の歩行姿勢のデータをとることができます。このデータを元に、後日、個別に体操指導をしていただけます。体操をすることで正しい歩行姿勢を身に付け、姿勢が原因となる腰痛、膝痛、転倒など運動器関連疾患を防ぎ、生涯に渡って自身の脚で歩くことができることを目指します。



朝の全校集会では、正しい歩行姿勢の大切さや測定の仕方を話していただきました。「転んだことがある人？」と聞かれ、ほぼ全員が手を挙げましたが、「転ばないようになるの？」と一気にこの日の測定や体操指導に興味が湧いた様子でした。学年ごとに1時間ずつ体育館で測定しましたが、子どもたちは緊張した様子でセンサーをつけていただき、10mほどの距離を歩きました。この結果を受けて、次回は改善指導（体操）を行います。